

バクテリオファージによる青枯病専用予防剤

農林水産省登録 第 24861 号

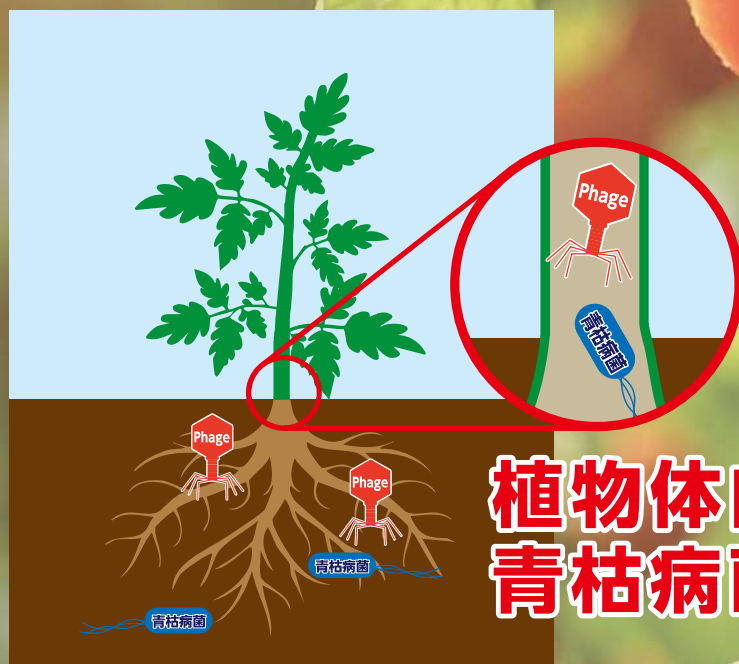
青枯革命[®]

有効成分：青枯病菌感染性バクテリオファージ RKP181・・・ 1×10^{10} PFU/ ml

仕 様：1.2ℓ ポリプロピレン袋入り

®は、パネフリ工業株式会社の登録商標

- ◆青枯病菌に特化して作用し、予防的に効果を発揮
- ◆国内土壌から採取されたバクテリオファージ*
*バクテリオファージ：細菌に感染するウイルス
- ◆人畜に対する安全性が高く、各種動植物・環境
に対する影響が少ない



植物体内で
青枯病菌を防除！

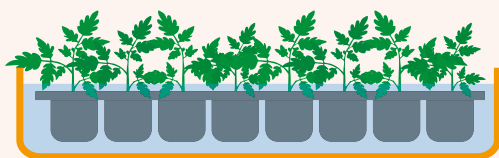
使用方法

株元灌注



100 倍希釈した薬液を
1 株当たり 50 ml を株元
に灌注する

苗浸漬

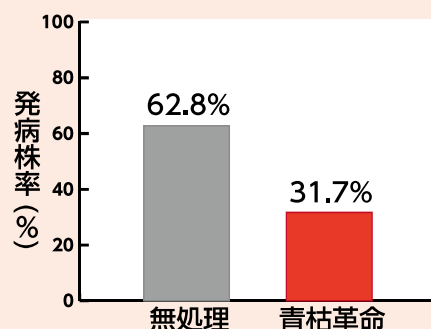


100 倍希釈した薬液に 5 分間
浸漬（どぶ漬け）する

試験事例

トマト 青枯病に対する効果

試験場所：高知県農業技術センター（2022 年）
供試作物：トマト（品種：ホーム桃太郎 EX）
定植：9 月 7 日
処理方法：定植 2 日前（9 月 5 日）に青枯革命を
100 倍でポット苗 1 株あたり 50 ml
株元灌注
発生状況：多発生
調査内容：定植 29 日後に全株について調査し、
発病株率を算出



適用作物と使用方法

令和 7 年 6 月 9 日現在

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	青枯病菌感染性バクテ リオファージ RKP181 を含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	青枯病	100倍	50ml/株	定植2日前 ～定植直前	-	株元灌注	-
えごま(葉)			-			5分間 苗浸漬	
えごま(種子)			-				

⚠ 使用上の注意事項

- 本剤は入手後直射日光をさけ、冷蔵で保存してください。
 - 使用に当っては都度調製してください。
 - 開封後は使いきってください。
 - 本剤の有効成分はウイルスであるので、浸漬液は調製後そのまま放置せず、できるだけ速やかに使用してください。
 - 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
 - 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管・・・冷蔵（4℃）にて食品と区別し、密栓して保管してください。冷凍はさけてください。

要冷蔵 有効期限:3カ月(4℃)

青枯病は難防除土壌病害です。土壌消毒や耐病性品種など各種対策とあわせてご使用ください。

●使用前にラベルをよく読む ●ラベルの記載以外には使用しない ●小児の手の届く所には置かない

AK25I01（青枯）